

三心を磨く

学校だより No. 4

令和7年7月18日(金) 発行

須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

一学期終業式 校長講話より



学校教育目標「三心自立」に向けて、皆さんは日々学校生活の様々なことに取り組んできました。

先日、全校縦割り総合がありました。自分で選んだ活動グループごとに学年の枠を超え、また地域の方にも協力をいただき、とても充実した活動ができたと思います。今後さらに全校縦割り総合が充実するために、2つのことをお話しします。生徒だけでなく先生方にもぜひ大切に捉えていただき、更に充実した総合に発展していけるようみんなで取り組んでいきたいと考えています。

一つめは「なぜ縦割り総合なのか」についてです。この点について、これまでの自分の取り組み方はどうでしたか。同じ学年の人としか一緒に行動していなかった、グループには同学年や他学年の人が何人かいるけど、自分が話しかけたり話したりする人はいつもの友だちになりがちだったということはありませんか。まだ、縦割り総合の時間は続きます。ぜひ異学年の先輩、後輩に『自分から』関わり、一緒に追究する総合の時間に、そして新たな出会いの時間にしていきましょう。普段の慣れた友だちではないので、相手のことをよく知らないから、気まずい、話が弾まないなど、気を遣うことが多く、初めは少し苦労もあるかも知れませんが、そこを乗り越えるところに自分のコミュニケーション力を磨くチャンスがあると思います。

二つめは「総合的な学習の時間は『なぜ?』や『こうしてみたらどうかな?』の連続である」ということについてです。今回実際に体験をしてみて、自分の心の中にふと浮かんだ『気になったこと』『感じたこと』『思ったこと』などがあると思います。

例えば、私は豊丘ダムグループに参加しました。現地へ行くと、ダムの水が真っ青な綺麗な色をしていました。「なぜあんなに水が青い色をしているのかな」と思いました。また謎のトンネルがあり、私たちのマイクロバスでは通れないほど狭いトンネルです。出口の方は真っ暗で、どうなっているのか全く分かりません。お化けが出ると言っていた生徒もいました。私の中に『このトンネル制覇してみたい』という野望が沸き起こりました。トンネルに向かって叫んでいる生徒もいました。その反響音が大きく、余韻も長くて、「どうしてこんなに声が長く反響するのか」と思いました。ダムに辿り着く前にすでにこんなに感じたことがありました。

また前日には、流しそうめんグループが使う竹を、生徒が安全に切り出せるか確かめるために、内山先生と土屋先生と3人で、現地へ行き、竹藪から竹を一本実際に切ってみました。のこぎりは前後に動かすことができず、手前に一方向でしか引けなかったこと、青竹の節と節の間は切ってみるととても柔らかくて、のこぎりを3~4回引いただけで切れたことに驚いたこと、藪に入った瞬間に蚊に10箇所くらい刺され、服の上からも刺されたことがその時の私にとっての出来事でした。「竹って節じゃないところはこんなに簡単に刃が入るんだなあ」とか「服を通すほどの蚊の針ってどんな針?」「昔、流れてくるそうめんが早すぎてとれなかったな」となどということを考えながら学校へ戻ってきました。

ぜひ、グループの仲間で、今回の総合で感じたことを出し合って、追究の方向を検討し、解決したい自分たちの疑問や試してみたいことなどを大切に膨らめて、次の追究へつなげてほしいと思います。

以上2つのことをこの後の総合の時間で大切に振り返りをして下さい。

さて、1学期が今日で終了します。竹は節じゃないところがすごく柔らかいのに、節があるから、風雪などに

も折れずに耐えられます。私たち人間も、自分の生きている時間に節を刻んでいくことで少しずつ強くたくましくなる、しかも節は細かいほど頑丈になる、ということでしょうか。

「節を刻む」とは自分の足跡を振り返り、『成果と課題』を洗い出し、その振り返りの基に、次の目標や自分自身の修正点、改善点を見つけておくことです。つまり、地面からどんなふうに伸びてきたか客観的に自分のことを掘むとともに、次の自分自身の成長の芽をつくっておくことです。お家の方と一緒に、先生たちが作成して下さった通知票を見ながら、節を刻む時間を大切にしてほしいと思います。



つづいて、このスライドを見て下さい。この日付、何の日付が分かりますか。80年前の8月6日は広島に原子爆弾が投下された日です。同じく80年前の8月9日には長崎に原子爆弾が投下されました。では80年前の8月15日はどうでしょうか。日本がポツダム宣言を受諾し、戦争が終わった日です。

人類史上初めて原子爆弾が実戦で使用された事例であり、広島と長崎への原爆投下は、戦争の悲惨さを象徴する出来事として、世界に衝撃を与えました。

終戦の翌年11月3日に、日本国憲法が公布となり、半年後、1947年5月3日に施行となりました。日本国憲法は、戦争永久放棄を謳った、世界に誇れる平和憲法です。戦後80年を迎える日本を生きる私たちも過去の先輩たちが築いてきた平和を維持し、次の世代につなげなければなりません。

当時、戦時下で味わった辛い出来事や体験を語れる人が年々少なくなっています。日本に戦争を経験した方たちがいなくなってしまうたら私たちは平和を維持していくことはできるのでしょうか。

3年生の国語の授業で、花房先生が「あなたが平和だなと感じるのはどういうとき？」と質問していました。男子生徒は「好きなことをしているとき」と答えました。たしかに、80年前以前の皆さんの年齢の子どもたちは、有無を言わさず戦争に駆り出されていて、ましてや男子は戦地へ送られました。自分のしたいことなんてできなかった、つまり、戦争は人々の自由を奪うということなんです。



現在世界で起きている戦争。皆さんもニュースなどで知っていると思います。

ウクライナ戦争、これは、ウクライナにある独立広場です。旗の一本一本が戦死者を表しています。「僕は戦争に行きたくない」とお父さんの遺影に語りかける幼い子どもの写真です。イスラエルとパレスチナ（ガザ）の戦争では、400人以上の子どもが連日死傷しています。既になくなってしまいましたが世界の平和のために尽力した日本人も過去に何人もいます。この方の名前を聞いたことがありますか。

・中村 哲 氏

アフガニスタンで65万人の命を救った医師でありながら、干ばつに対処するため、井戸を掘り、用水路を作りました。残念ながら、2019年に銃撃に遭い、亡くなってしまいました。

・緒方貞子 氏

日本人として、女性として初の国連難民高等弁務官を務めました。実際に紛争地に赴き、難民の状況を直接自分の目で確認し支援活動に取り組むというやり方を貫きました。世界からは『5フィート（150cm）の巨人』と称されたそうです。2019年に92歳で亡くなるまで、世界平和のために働きました。

・杉原千畝 氏

第二次世界大戦中、リトアニア日本領事館で領事代理を務めた人です。ナチス・ドイツから迫害されていたユダヤ人に「命のビザ」と呼ばれる通過ビザを大量に発給し、多くのユダヤ人の命を救ったことで知られています。このビザで救われた人たちは、その子孫も合わせて現在25万人以上にも及ぶと言われ、世界各国で活躍しています。

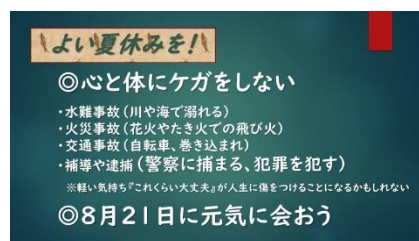
こうした私たちの先輩の生き方を知ってみるのも良いかも知れません。私たちの今の平和は過去の人たちの努力によって作られたものです。私たちは、これからの世界が誰にとっても平和であるために何をしなければならないのでしょうか。

さて、先ほども触れましたが、今年は戦後80年という節目の年です。きっと80年前の子どもたちも夏休みを楽しみにし、友だちとカブトムシを捕まえて遊んだり、真夏の太陽のもと、川や海で泳いだり、セミの鳴き声を聞きながらトウモロコシやスイカ、アイスを食べたりして楽しんでいたことでしょう。それが突然その生活を奪われてしまった現実がこの日本であったのです。

80年後の今、こうして平和に生活できること、過去の日本人の人たちに感謝しながら、80年前、日本に何があったのか、そこに生きた日本人たちはどう思いながら暮らしていたのか、この夏休みの期間に一人ひとり考えてほしいと思います。例えば、

- ・おじいちゃん、おばあちゃん、近所のお年寄りの方に戦争体験を聞いてみる。
- ・長野県の戦争に関する資料がある場所を訪れてみる。
- ・テレビの特集やドキュメントをじっくり見てみる。などです。

平和な社会は人間の努力なくして築くことはできません。力による現状変更には悲しみを伴います。誰かの思いは達成し、その人は満足するかも知れませんが、それに巻き込まれた多くの人たちは、関係ないのに大切な人を失ったり、自分の幸せな人生を狂わされたりします。人権侵害の最たるものは戦争です。日本が世界の一国として、戦争の渦に巻き込まれていくのではなく、平和に向かって毅然と行動できる国でありたいと思います。その国を作っているのは私たち一人ひとりです。



これからの日本を生きていく私たち。過去の歴史に学び、一人一人の命の重さ、尊さについて考える夏休みはどうでしょうか。

終業式 代表生徒の発表より

成長した私の一学期

1年1組

私が、この4ヶ月間で成長したことは、2つあります。

1つ目は学習面です。私は、勉強が苦手な「勉強しよう」と思っても、あとあとまで放置してしまうタイプでした。でも、中学生になって、だんだん勉強が難しくなり、校内テストもあったので、「自分のために勉強をしないといけない」と思い、今では、テスト勉強を頑張れるようになりました。特に苦手だと思っている国語も毎日ワークに取り組み、そのおかげか単元テストで高い点数が取れるようになってきました。

2つ目は人間関係です。最近、友達とケンカをしてしまい、関係が悪くなってしまうことがありました。小学生の時は、本当は仲直りしたいと思っていても、なかなか言葉にすることができなくて、思いが伝わらずに悲しい思いをすることがありました。でも、中学生になって、自分の思いは相手に伝えないと伝わらないと考えるようになりました。友達の考えや思いを想像しながら、友達と接することを大切にするようになり、今では、その友達と以前より関係がよくなりました。これらのことから、私は、将来のことや、相手のことを考えて行動することが大切だと気づけるようになった点が成長できた点だと思います。

2学期に頑張りたいことは、勉強・よりよい人間関係づくりに加えてチアリーディングの練習です。私が所属している須坂コルツは春休みに行われたナショナルズという大会で全国大会への切符を手にすることができました。来年の夏にアメリカで行われる世界大会に向けて、「笑顔・エナジー・柔軟性」をより磨いて、世界大会でも活躍できるように頑張ります。

1学期を振り返って

2年1組

私が1学期、頑張ったことは3つあります。

1つ目は部活のリレーで初めて県大会に出場できたことです。他学年のメンバーと協力しながら練習を重ね、

大会では、目標記録を上回るタイムを出すことができました。うまくいかなかったこともありましたが、その失敗を次に生かすことができました。

2つ目は他学年と積極的に関われたことです。ミニチャレンジランキングなどの行事では、同じチームになった他学年の人たちに、自分から話しかけることができました。部活動でも、片づけのときに自分から声をかけて、協力し合うことができました。以前よりも、自分から行動することが増えてきたと感じています。

3つ目は英語係としての仕事です。1年生の時は係の仕事を友だちに任せてしまうことが多かったのですが、今年は提出物のチェックや配布などを、自分から進んで取り組むことができました。責任をもって行動できたことは、大きな成長だと思います。

一方で、家庭学習については、1年生のときよりも提出物が出せないことがありました。部活動との両立がうまくいかず、時間の使い方に課題が残りました。

2学期は、1学期の反省を活かして、勉強と部活動の両立をしっかりと意識して取り組んでいきたいです。また、東祭では、準備の段階から学年を越えて活動することが多くなると思うので、他学年と関わる時には、これまで以上に協力し合えるように、自分から動くことを大切にしたいです。

1学期を振り返って

3年1組

中学3年生として迎えた一学期。気が付けば最終日になってしまいました。受験生という自覚をもち、新たなスタートを切ったはずでしたが、正直なところ勉強面では反省点の多い学期となってしまいました。特に、総合テストでは思うような結果が出せませんでした。

部活動を引退し、受験勉強に集中できる環境になった今、一学期の学習状況を改めて振り返ると、時間の使い方が甘かったと思います。苦手な分野の克服に十分な時間を割かず、分からない問題をそのままにしまったことが、点数に大きく響いたと感じます。さらに、授業中も理解できない点はその場で先生に質問することができず、積極的に学ぶ姿勢が足りなかったと思います。

私はこの一学期の経験をこれからの学習に対する意識を大きく変えるきっかけとし、2学期は具体的な行動へとうつしていきたいと思います。そのために、まず、夏休みは苦手な分野にはこれまで以上に徹底的に向き合い、理解できるまで粘り強く取り組みたいです。そして、部活動で培った目標に向かって努力し続ける粘り強さを勉強にも活かし、志望校合格という目標に向かって、最後まで諦めずに努力し続けたいです。

保護者の皆様へ（お願い）

○明日から8月20日（水）まで夏休みとなります。33日間の長い休みになりますので、早寝早起き等生活リズムを大切に、健康的な毎日が送れるように、ご家庭でもご指導ください。
この間に、万が一事故や事件、大きな怪我、入院等不測の事態が起きたときは、学校までご連絡ください。



○夏休み中、部活動の他、生徒会の活動（文化祭の準備、水くれ当番等）、学習会等で登校する生徒がいます。登校する際は、ご家庭で登校時間等確認し合い、お子さんの所在の把握をお願いします。また、自転車を利用する場合は必ずヘルメットを着用し（学習会は徒歩で登校となっています）、時節柄天候の急変やクマ出没等にも十分注意をするよう、安全面についてご家庭でも話題にしてください。

○7月22日（火）～26日（土）まで、ミニ資源回収を行います。ご協力をお願いします。

充実した夏休みにしてください♪♪

休み中の連絡先

*平日 8:15～16:45 東中学校 026-245-2342
(12:00～12:45の間と、時間外は留守番電話対応となります)

*閉庁日期間中 8月10日（日）～16日（土）

教育委員会学校教育課 8:15～16:45 026-248-9010

閉庁日の夜間 市役所代表 026-245-1400